

科目コード	ナンバリング	単位数	学期	授業区分	科目区分	履修区分	配当学年
320240	X-21-B-3-320240	1	前期	【1・2年次生】国際学部国際文化学科	専門	選択必修	3年
				【3年次生以上】国際学部国際文化学科	専門	選択	4年
				【3年次生以上】国際学部国際文化学科英語集中コース	専門	選択	4年
				【1-3年次生】経営情報学部経営学科	×	×	×
				【1-3年次生】経営情報学部情報システム学科	×	×	×
				【4年次生】情報文化学部情報システム学科経営コース	×	×	×
				【4年次生】情報文化学部情報システム学科情報コース	×	×	×

授業目的

テキストの各短編小説の学習を通して、中国の「事情」を知り、人間の心理表現の言葉やより複雑な日常生活場面の表現を習得する。今まで習った文法や語彙を加えて、日常会話や簡単な作文だけにとどまらず、物事について論じ、解説などの「書く」力を高め、より高度な表現力を習得し、国際社会で必要な言語能力を身につける。

各回の授業内容

<p>第1回 【授】 新学年の学習計画の説明及び各自の自己紹介と学習目標を発表する。第一課の文法学習 【前・後】 「自己紹介」の中国語発表を準備する。第一課の単語を予習しておく。合わせて1時間学習。</p> <p>第2回 【授】 第一課の本文の解説、質疑回答 【前・後】 事前に本文の内容を予習し、問題点を整理しておく（1時間学習）。授業後に本文を30分朗読する。</p> <p>第3回 【授】 第一課の本文について会話練習する。練習問題の答え合わせをする。 【前・後】 単語と文法を復習した上に練習問題を予習しておく。本文のようについての質問を考えておく。（2時間学習）</p> <p>第4回 【授】 第2課の単語確認と文法解説と文法応用練習 【前・後】 事前に単語と文法を予習しておく（1時間）。</p> <p>第5回 【授】 第2課の本文に入る・質疑応答 【前・後】 事前に第2課の本文の内容を予習しておく。「国民党と蒋介石」を調べておく。質疑を整理する。（2時間学習）</p> <p>第6回 【授】 第2課の内容について会話する。練習問題の確認 【前・後】 第2課の本文を30分音読する。会話の質問文を準備しておく。練習問題を予習する。</p> <p>第7回 【授】 第3課単語確認・文法解説・文法応用練習 【前・後】 第3課の単語と文法を予習しておく（1時間）。</p> <p>第8回 【授】 第3課本文解説・質疑応答・本文音読確認 【前・後】 単語・文法の予習・復習（1時間）、本文の音読（30分）、質疑の整理（30分）</p>	<p>第9回 【授】 第3課本文の内容について会話する。練習問題の答え合わせをする。 【前・後】 本文の内容を十分理解できるようにする（1時間）。練習問題をしておく。</p> <p>第10回 【授】 題目作文（授業の時指示）発表1 発表内容について質問をしたり、答えをしたりする。 【前・後】 作文書く。自分の作文を熟読して発表の準備する。（2時間か3時間）</p> <p>第11回 【授】 題目作文発表2 作文の問題点の整理（時間が余りましたら中国事情のビデオを見る） 【前・後】 自分の作文の問題点を見直す。（1時間）</p> <p>第12回 【授】 第4課単語確認・文法解説・文法応用練習 【前・後】 単語・文法の予習（1時間）する。</p> <p>第13回 【授】 第4課本文解説・質疑応答・音読確認 【前・後】 本文を30分音読する。本文の内容理解及び質疑整理をしておく（1時間半）。</p> <p>第14回 【授】 第4課について会話する。練習問題の答え合わせをする。 【前・後】 今までの学習内容の総復習をする。発表の準備をする。復習準備に4時間</p> <p>第15回 【授】 発表 【前・後】 今まで習った内容・練習した内容を復習し、発表の内容を確認し、スラスラ言えるように練習する。学習時間4時間。</p> <p>第16回 【授】 期末レポート提出（レポート題目は事前に知らせる） 【前・後】 今までの学習内容を整理して総復習する。レポートを期限内に提出する。</p>
--	--

成績評価方法

授業では極力中国語を使い、予習復習をしっかりやってきてほしい。
レポートは添付ファイルで提出することと時間厳守すること。
成績は成果発表（40%）、宿題・レポート（20%）、授業態度・授業参加（20%）、小テスト（20%）を合わせて総合的に評価する。

教科書・参考書

「中国短い小説」 朝日出版社
渡邊晴夫・劉静 著

受講に当たっての留意事項

辞書を持参する。成績は授業態度、出席率、課題提出、レポート成績により総合的に評価する。授業の予定内容は実情により調整することがある。あらかじめご了承ください。

実務経験のある 教員による授業 科目有無	実務経験と授業科目との関連性	アクティブラーニング（ディスカッション、グループワーク、発表等）の実施
×		○

学習到達目標

物事に対する自分の意見や説明が流暢且つややより高度な中国語で表現できるように、国際社会で必要な中国語コミュニケーション能力を身につける。

JABEE

【授】：授業内容 【前・後】：事前・事後学習